

# はすぬま温泉

Hasunuma Onsen  
(東京都大田区)



久しぶりに東京の銭湯へやってきた。今回紹介するのは、大田区の蓮沼駅近くにあるはすぬま温泉である。蒲田駅から歩いて也大した距離ではない。

はすぬま温泉は、その名の通り温泉銭湯である。建物は新しくリニューアルされており、清潔感がある。フロント前には休憩スペースがあり、床面にコイが泳ぐ姿も見える。脱衣室にあるロッカーは3種類の大きさ

があり、大きなカバンを持っていても平気だ。建設作業員風の客は、スポーツバッグをロッカーに押し込んでいた。ロッカーは木製の扉で、温かみがある。ロッカーは40個、ドライヤーは2個ある。

浴室は真ん中に浴槽が3つあり、その両側に8か所ずつ洗い場がある構成になっている。洗い場には、銭湯としては珍しくリンスインシャンプーとボディーシャンプーが具備されている。

浴槽は手前から水風呂（水温25℃、定員4人程度）、炭酸温泉（湯温40℃、定員4人程度）、天然温泉（湯温40℃、定員6人程度）となっており、水風呂はかなり高温の部類（つまり水風呂初心者向け）、両温泉は長湯が可能な温度だ。

はすぬま温泉によれば、炭酸温泉は①血流を促進し、②酸素を体内に供給しやすくし、③血行障害の治療に使い、④肌を引き締める効果があるという。

また、天然温泉はナトリウム-塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉（低張性弱アルカリ性冷鉱泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病、虚弱児童に効くという。

サウナは水風呂の前にあり、定員7人ほど。室内温度は90℃を示していた。サウナ横にはシャワーブースも1か所ある。

浴室には特筆すべきことが2つある。まずはペンキ画。女湯との間の仕切りは木製の板で、その表面に直径60cmほどの円形で5つのペンキ画がある。作者は「Gravity Free」とある。題材はバラ、桜、もみじ、しょうぶ（あやめか？）、はすなどだ。季節の植物ということなのだろうか。なぜわざわざ耐久性の低い木製にしたのかわからないが、目を楽しませてくれることは確かだ。上を見やれば、ステンドグラス風の窓がある。これらペンキ画とステンドグラスが和洋折衷のような不思議な空間を演出している。

タイル画は脱衣室側と奥の両方にあり、題材は脱衣室側が雪の山脈、奥が滝である。脱衣室にはこの

滝のタイル画の原画と思われるものが額に納められて展示されている。この原画を何らかのテクノロジーを使ってタイルに焼き付けたのであろうか。

はすぬま温泉のように、最近リニューアルされる銭湯は結構金をかけているように見える。そして客の数も多い。これが大江戸銭湯の新しいあり方なのだろうか。銭湯の数が急激に減りつつある今、関係者の努力がこのような目に見える形で具体化していることに敬意を表したい。我々銭湯ファンにできることは、それらをありがたく頂くことである。

DATA

名称	はすぬま温泉
所在地	東京都大田区西蒲田 6-16-11
電話	03-3734-0081
営業時間	15:00~25:00
定休日	火曜日
入浴料	大人（12歳以上）460円 中人（6歳以上12歳未満（小学生））180円 6歳未満（未就学児）80円、サウナ追加料金 300円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	未確認
取材日	2018年5月18日（金）
取材	銭湯愛好会東京支部